

2006年

1. 論文

- ・ 劉沉穎, 鈴木裕子, 宗像恒次: 看護師の患者教育におけるコミュニケーションスキル. 臨床透析, 22(3): 283-288, 2006.
- ・ 塩谷育子, 橋本佐由理, 宗像恒次: アルコール依存症者と糖尿病患者の語りの比較—愛の物語の再構築—. 日本保健医療行動科学会年報, 21: 110-125, 2006.
- ・ 宗像恒次: イメージスクリプト. 日本保健医療行動科学会年報, 21: 245-254, 2006.
- ・ 窪田辰政, 井坂美香, 岡田隆造, 下川哲徳, 宗像恒次: 中学生を対象としたストレスマネジメント-教育介入に向けた予備的調査研究. 杏林大学研究報告, 23: 43-54.
- ・ 宗像恒次: EBMとNBMとを統合するイメージスクリプト概念. ヘルスカウンセリング学会年報, 12: 9-18, 2006.
- ・ 小林啓一郎, 橋本佐由理, 林隆志, 坂本成子, 掘美代, 帯津良一, 村上和雄, 宗像恒次: 免疫データの季節変動を手掛かりとしたがん患者の世代間伝達感情への対応—夏期を鍵状況として血液データに身体症状化したストレスイメージ—. ヘルスカウンセリング学会年報, 12: 37-45, 2006.
- ・ 殿山希, 橋本佐由理, 宗像恒次: 視覚障害を有するマッサージ師の特性不安に関連する心理社会的要因とその対策. ヘルスカウンセリング学会年報, 12: 65-72, 2006.
- ・ 小林由実, 宗像恒次, 橋本佐由理: 中高年者の社交ダンス活動と不安傾向の関連. 高齢者のケアと行動科学, 11(2): 1-11, 2006.
- ・ 宗像恒次: 未来自己イメージ法による大学生のキャリア支援—他者報酬型キャリアの時代へ—. 日本精神保健社会学会, 日本精神保健社会学会年報, 12: 13-20, 2006.
- ・ 橋本佐由理, 奥富庸一, 宗像恒次: SAT カウンセリングセミナーの教育効果に関する研究. ヘルスカウンセリング学会年報, 12: 73-89, 2006.
- ・ 上田敏子, 宗像恒次: SAT 自己イメージ連想法を用いたストレスマネジメントに関する研究. ヘルスカウンセリング学会年報, 12: 91-96, 2006.
- ・ Tatsumasa Kubota, Hajime Ohmori, Tsunetsugu Munakata: The Relationship between Physical Activity Level and Stress Response in University Students. 杏林医学会雑誌, 37(3): 55-59, 2006.
- ・ Tatsumasa Kubota, Tsunetsugu Munakata: The Relationship between Physical Activity Level and Stress Response in Female University Students. 日本精神保健社会学会年報, 12: 29-35, 2006.
- ・ Takako Maeda, Francis N. Onuoha, Tsunetsugu Munakata: The Effect of Postoperative Symptom Experience, and Personality and Psychosocial Factors on Depression Among Postgastrectomy Patients in Japan. Gastroenterology Nursing, 29(6): 437-444, 2006.

2. 著書

- ・ 宗像恒次: 心の健康と環境. 松下正明, 坂田三允, 樋口輝彦(編), 精神看護学, 医学芸術社, pp. 106-111, 2006.
- ・ 宗像恒次: SAT 療法—免疫力を上げ, がん抑制遺伝子をオンにする新タイプの心理療法. 帯津良一(監修), お医者さんがすすめる代替療法, 学研, pp. 76-77.
- ・ 宗像恒次, 足立優, 有川千登勢, 池田京子, 岩元雅子, 中野智美, 福田光男, 保坂誠, 水木さとみ, 村上多恵子, 渡邊麻里: 改訂版 歯科衛生士のためのヘルスカウンセリング. クインテッセンス出版株式会社, pp. 1-307, 2006.
- ・ 宗像恒次, 諏訪茂樹: 家庭における精神保健. 福祉士養成講座編集委員会編集, 精神保健, pp. 84-91, 2006.
- ・ 宗像恒次: SAT 療法. 金子書房, pp. 1-247, 2006.
- ・ 宗像恒次: ケア技術のエビデンス. 深井喜代子(監修), ヘルスカウンセリング実践法のエビデンス. へるす出版, pp. 75-390, 2006.
- ・ 帯津良一, 宗像恒次: お医者さんがすすめる代替療法. 学研, 76-77, 2006.

3. 口頭発表

- ・ Sayuri Hashimoto, Tsunetsugu Munakata, Nobuyuki Hashimoto, Junzo Okunaka, Tatsuzo Koga: Internet-Based Remote Counseling to Support Stress Management, Prevent Interruptions to Regular Exercise in Elderly People, SPIE-IS&T, 6061: 60610T-1.
- ・ Sayuri Hashimoto, Tsunetsugu Munakata: Internet-Based Remote Counseling to Support Stress Management, Prevent Interruptions to Regular Exercise in Elderly People, Internet Imaging, 7: 34.
- ・ Nozomi Dnoyama, Tsunetsugu Munakata: Workplace and Other Psychosocial Factors related to Trait Anxiety among Massage Practitioners with Visual Impairment, XVI World Congress of Sociology, 2006. 8.
- ・ Tsunetsugu Munakata, Junzo Okunaka, Tatsuzo Koga: Effect of Internet-Based Remote Counseling to Support Mental Health, Preventing Interruptions to Regular Exercise in Elderly People, XVI World Congress of Sociology, 2006. 8.
- ・ Manabu Kaneko, Tsunetsugu Munakata: Development of the SAT-Based Public Policy Marketing System, XVI World Congress of Sociology, 2006. 8.
- ・ Tsunetsugu Munakata: Keynote Address Between Dependence and Autonomy in Integrative Health: Schema for Lifestyle Change, The 5th International Conference of Health Behavioral Science, Bangkok, Thailand, 2006. 8.
- ・ Noriko Higuchi, Sayuri Hashimoto, Hirohiko Higuchi, Tsunetsugu Munakata: The Relationships between Japanese Workers' Social Skill, Perceived Emotional Support, Self-Image and Mental Health, The 5th International Conference of Health Behavioral Science, Bangkok, Thailand, 2006. 8.
- ・ Osamu Morikawa, Sayuri Hashimoto, Tsunetsugu Munakata, Junzo Okunaka: Embrace System for Remote Counseling, The ACM Eighth International Conference on Multimodal Interfaces (ICMI '06), Banff, Canada, Nov, 2006. 11.
- ・ 宗像恒次: 特別講演 自己抑制のストレス病の克服法. 第7回神奈川めまいフォーラム, 神奈川, 2006. 2.
- ・ 樋口倫子, 橋本佐由理, 宗像恒次: 身体症状を呈する患者へのSAT カウンセリング—心因性視覚障害への介入事例—. 第47回日本心身医学会総会, 46(6): 573, 東京, 2006. 5.
- ・ 森川治, 宗像恒次, 橋本佐由理, 奥中淳三: ハイパーミラーを用いた遠隔抱擁システム, インタラクション 2006. 一橋記念講堂, 東京, 2006. 3.
- ・ 橋本佐由理, 樋口倫子, 宗像恒次: 身体症状を呈する患者へのSAT カウンセリング—2型糖尿病への介入事例—. 第47回日本心身医学会総会, 日本心身医学会, 46(6): 574, 東京, 2006. 5.

- 山本美奈子, 宗像恒次: 労働者のストレス源認知と要因についての共分散構造分析 (予備的調査). 第 21 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 大阪産業大学, 大阪, 2006. 6.
- 瀬在泉, 宗像恒次: 大学生における喫煙行動に関する要因分析. 第 21 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 大阪産業大学, 大阪, 2006. 6.
- 塩谷育子, 宗像恒次: アルコール依存者への SAT 療法介入. 第 21 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 大阪産業大学, 大阪, 2006. 6.
- 金子学, 宗像恒次: SAT 法を用いた社会情報探査システムの開発. 第 21 回日本保健医療行動科学学会学術大会, 大阪産業大学, 大阪, 2006. 6.
- 宗像恒次: 特別講演「生活習慣病の心理療法「SAT」—がん患者の生き方変容を支える—». 第 5 回「心と遺伝子研究会」, 茨城, 2006. 8.
- 小林啓一郎, 橋本佐由理, 宗像恒次: がん抑制遺伝子活性度および血液免疫力の季節変動として顕在化したがん患者の潜在化ストレスイメージへの SAT イメージ療法による対応-夏季を 鍵状況として血液データに身体症状化したストレスイメージ. 第 5 回「心と遺伝子研究会」, 茨城, 2006. 8.
- 橋本佐由理, 小林啓一郎, 宗像恒次: がん抑制遺伝子が動く時—建前主義から充実感と感動の生き方へ—. 第 5 回「心と遺伝子研究会」, 茨城, 2006. 8.
- 宗像恒次: 私達はなぜ生まれ、なぜ生きるのか. 第 13 回ヘルスカウンセリング学会学術大会, 千葉, 2006. 9.
- 田中京子, 宗像恒次: 気質理解に基づく人間関係調整マネジメント・システムの開発 ~介入事例の比較検討. 第 13 回ヘルスカウンセリング学会学術大会, 千葉, 2006. 9.
- 鈴木裕子, 宗像恒次: 労働者のメンタリング尺度開発とメンタリング施策に関する意識調査. 第 13 回ヘルスカウンセリング学会学術大会, 千葉, 2006. 9.
- 塩谷育子, 宗像恒次: SAT 療法によるアルコール依存症への介入. 第 13 回ヘルスカウンセリング学会学術大会, 千葉, 2006. 9.
- 高田裕光, 宗像恒次: 青年期統合失調症における SAT 法を活用した家族心理教育 - プログラム開発における一考察 -. 第 13 回ヘルスカウンセリング学会学術大会, 千葉, 2006. 9.
- 宗像恒次: 基調講演「コラボレーション社会をつくる」. 第 13 回ヘルスカウンセリング学会学術大会, 千葉, 2006. 9.
- 宗像恒次: 特別講演「ガン, ウツから家族を救う愛の療法」. サトルエネルギー学会, 東京, 2006. 9.
- 窪田辰政, 宗像恒次: 大学生における運動行動の変容段階と運動セルフ・エフィカシーの関係. 第 12 回日本精神保健社会学会, 東京, 2006. 11.
- 高田裕光, 宗像恒次: 統合失調症者支援における自閉気質 (統合失調気質) の考察. 第 12 回日本精神保健社会学会, 東京, 2006. 11.
- 窪田辰政, 宗像恒次: 大学生における身体活動水準と運動セルフ・エフィカシーの関係. 第 35 回杏林医学会, 東京, 2006. 11.
- 高田裕光, 宗像恒次: 青年期統合失調症における SAT 法を活用した家族心理教育. 第 12 回日本精神保健社会学会, 東京, 2006. 11.
- 山本美奈子, 宗像恒次: 労働者の職場環境認知と精神健康度に関する分析モデル. 第 12 回日本精神保健社会学会, 東京, 2006. 11.
- 瀬在泉, 宗像恒次: 青年期の喫煙行動に関する要因分析と禁煙支援介入. 第一回日本禁煙科学学会学術総会, 京都, 2006. 12
- 4. その他
- 宗像恒次: カウンセリングシステム, カウンセリング装置, カウンセリング制御プログラム. 特許出願 (番号-特願 2006-167895, 出願日 2006. 6. 16.)
- 宗像恒次: 希死念慮のある患者さんをどう受け止めるか. Clinical Pharmacist, 54: 12-13, 2006.
- 宗像恒次: 熟年夫婦関係リセット術. ニューリーダー, 2: 68-72, 2006.
- 宗像恒次: 患者のタイプ別のコミュニケーション方法. Medical Practice News, 3: 2-3, 2006.
- 宗像恒次: 病歴が長く, 薬の副作用への関心が高い患者さんへの対応. Clinical Pharmacist, 55: 12-13, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. 結婚できないのは, 誰のせい?. INTRO・G, 223 (4): 26-27, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. 運命愛の相手は, 違う気質の人のなかにいる, INTRO・G, 224 (5): 26-27, 2006.
- 宗像恒次: 「血液型」よりはるかに部下を科学的に把握. これであなたも名管理職になれる!, フォーブス, 7: 180-185, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. 愛するより愛されたい人たち, INTRO・G, 225 (6): 26-27, 2006.
- 宗像恒次: 悪性リンパ腫. 何度も副作用を確認されることに戸惑いをみせる患者さん, Clinical Pharmacist, 56: 12-13, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. あなたを操るもう一人のあなた, INTRO・G, 226 (7): 26-27, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. 未来の自分にワープする, INTRO・G, 227 (8): 28-29, 2006.
- 宗像恒次: 熟年夫婦の幸せ. なぜ夫婦は「運命の出会い」なのか, 光の泉, (9): 10-15, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. かけがえのない愛で結ばれる, INTRO・G, 227 (9): 28-29, 2006.
- 宗像恒次: トラウマ回避イメージ法. ぴあ, 3: 2-3, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. 保身術を捨てて, もっと自由に生きよう, INTRO・G, 229 (10): 26-27, 2006.
- 宗像恒次: 急性胃炎. 用法変更抵抗を示す患者さんへの対応, Clinical Pharmacist, 57: 12-13, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. もう, 結婚してもいいよ, INTRO・G, 230 (11): 26-27, 2006.
- 宗像恒次: SAT マリッジカウンセリング. 幸せ成就を邪魔するストレス気質, INTRO・G, 231 (12): 26-29, 2006.
- 宗像恒次: 脳梗塞後遺症. 話をしてくれない患者さん, Clinical Pharmacist, 58: 12-13, 2006.
- 宗像恒次: 研修大会講演記録『世界のエイズは今』. さいたま市教育研究会, さいたま, 2006. 11.